

## 金属ワークの変位を高精度検出

- さまざまな用途に対応したセンサヘッド
- 非磁性金属(SUS、アルミ)のリニアリティ調整ができる (材質選択機能)
- 簡単リニアリティ補正(ティーチング)
- 2台のセンサの演算が容易(演算ユニット使用)
- 5台までの相互干渉を防止(演算ユニット使用)



**!** 8ページの「正しくお使いください」をご覧ください。

規格認証対象機種などの最新情報につきましては、当社Webサイト ([www.fa.omron.co.jp/](http://www.fa.omron.co.jp/))の「規格認証/適合」をご覧ください。

## 特長

### センサヘッドの品揃えを充実。

#### フラットタイプ・耐熱タイプをシリーズ追加

取り付けスペースのないアプリケーションや、耐熱性を要求されるアプリケーションに対応します。



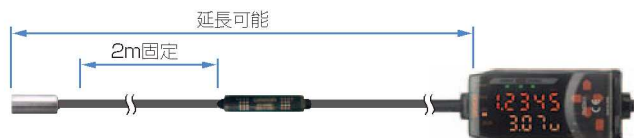
フラット 耐熱200℃ φ3 φ5.4 φ8 M10 M18 ...

SUSスパイラル保護チューブ付きもラインアップ。



#### センサ部のコード長は10mに延長可能

アンプ部からセンサ部までの距離は、形ZX-XC□A(別売)で3m、6m、10mに延長できます。



### メンテナンス効率の向上。

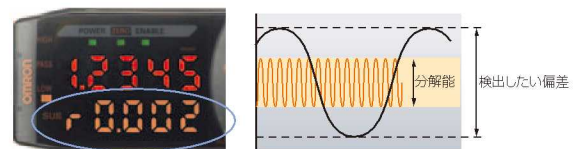
#### センサ部とアンプ部はフル互換

センサ部の破損時や、検出距離変更にとまなうセンサ部交換時でも、アンプ部はそのまま使用できます。



#### 分解能が手軽にわかる

テストしたいワークを検出させることで、手軽に分解能を知ることができます。分解能を表示することで、しきい値設定の余裕度を簡単に把握することができ、検出可否判断が的確に行えます。



#### デジタルパネルデータ不要の演算設定

演算ユニットをアンプ間に挟むだけで、2台のセンサの演算結果を片側のアンプに表示します。設定は片方のアンプに必要なパラメータを入力するだけでOK。

